校長室だより

国立市立国立第七小学校長　森田弘文
平成２８年４月２６日 NO.２（１００）

１年生を迎える会

４月２１日（木）は「１年生を迎える会」。２～６年生のみんなが、校庭に作った人文字「ようこそ七小へ」を屋上から見た１年生は、とても嬉しそうでした。校庭に降り、６年生に手を引かれて、朝礼台前に進みました。３年生が花のアーチを用意してくれ、４年生は歓迎の音楽（喜びの歌）を笛で吹いてくれました。続いて５年生は、愛唱歌と校歌が書かれた首飾りをプレゼント。全校の皆で歓迎をしている気持ちが伝わってきて、とてもうれしい思いでした。

その後、朝礼台前に並んだ１年生が出し物をしてくれました。下の言葉を言い、「さんぽ」を歌いましたが、とても元気よくかわいかったです。大きな拍手をもらい、少し照れくさそうな１年生でした。６７名の１年生が加わり、これで全校児童３６８名が揃って第七小学校がスタート。みんなでやさしい心あふれる学校にしていきましょう！代表委員会の皆さん、そして全校の児童の皆さん、素晴らしい会をしてくれて、どうもありがとう。（文：笹河副校長）

ありがとう
ありがとう
いえば　とっても
いい　きもち
いわれりゃ　もっと
いい　きもち
ありがとう
ありがとう
おにいさん
おねえさん
きょうは
ありがとうございました
これから
いっぱい
あそんでください
さいごに
さんぽを　うたいます

離任式

４月２２日（金）、５校時に離任式が行われました。体育館に来てくださった懐かしい４名の先生方。代表児童がそれぞれの先生に対して「お礼とお別れの言葉」を述べました。代表になった子は、緊張しながらもはっきりとした声、堂々とした態度で発表でき、とても立派で内容も心が込められていて素晴らしいものでした。離任式に出席することができなかった方もいらっしゃいましたが、代わりに副校長先生が受け取りました。子供たちが心を込めて書いてくれた作文は、責任をもってご本人に送りたいと思います。

その後、それぞれの先生からお言葉をいただきました。「七小の子は、お話がきちんと聞いてくれるので、お話ししていても気持ちがいいです。」「進んで挨拶ができるところが、みんなのいいところですね。」などなど、離任された先生方は、七小の子供たちの「よさ」をたくさんお話ししてくださいました。最後に、子供たちが作ってくれた学年ごとのアーチをくぐりながら、先生方が退場しました。終始、心温まる雰囲気の中で行われた離任式でした。（文：笹河副校長）